

令和9（2027）年度

東京大学大学院人文社会系研究科

博士課程学生募集要項

東京大学大学院

人文社会系研究科

研究室電話番号一覧

コード	専門分野	研究室	電話番号(ダイヤルイン)
01	言語学	言語学	03-5841-3807
03	考古学	考古学	03-5841-3793
04	美術史学	美術史学	03-5841-3800
05	哲学	哲学	03-5841-3739
06	倫理学	倫理学	03-5841-3760
07	宗教学宗教史学	宗教学宗教史学	03-5841-3765
08	美学芸術学	美学芸術学	03-5841-3769
09	死生学応用倫理	死生学応用倫理	03-5841-3736
10	心理学	心理学	03-5841-3861
11	日本語日本文学	国語学	03-5841-3813
		国文学	03-5841-3818
12	日本史学	日本史学	03-5841-3775
21	中国語中国文学	中国語中国文学	03-5841-3823
23	東アジア思想文化	中国思想文化学	03-5841-3746
24	インド文学・インド哲学・仏教学	インド哲学仏教学	03-5841-3754
		インド語インド文学	03-5841-3755
26	イスラム学	イスラム学	03-5841-3778
28	アジア史	東洋史学	03-5841-3781
31	西洋古典学	西洋古典学	03-5841-3855
32	フランス語フランス文学	フランス語フランス文学	03-5841-3842
33	イタリア語イタリア文学	イタリア語イタリア文学	03-5841-3851
34	英語英米文学	英語英米文学	03-5841-3830
35	ドイツ語ドイツ文学	ドイツ語ドイツ文学	03-5841-3836
36	スラヴ語スラヴ文学	スラヴ語スラヴ文学	03-5841-3847
37	現代文芸論	現代文芸論	03-5841-7955
38	西洋史学	西洋史学	03-5841-3789
41	社会学	社会学	03-5841-3877
42	社会心理学	社会心理学	03-5841-3870
50	文化資源学	文化資源学	03-5841-3722
55	文化基盤学		
51	文化経営学		
59	韓国朝鮮歴史文化	韓国朝鮮文化	03-5841-3636
60	韓国朝鮮言語社会		

**令和 9 (2027) 年度
東京大学大学院人文社会系研究科
博士課程学生募集要項**

教育研究上の目的

本研究科は、人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解をめざして教育と研究を実践することにより、高度な教養と思考力、表現力を身につけ、人類文化の発展に寄与する人材を養成することを目的とする。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、思想、歴史、言語、社会にかかわる諸問題について、独創的な観点から論理性を備えた議論を展開し、それぞれの関心に沿って、高度な言語能力を身につけ、実証性に裏打ちされた、説得力のある研究成果を生み出すことのできる学生を求めます。入学者選抜においては、以下の点が問われます。

- ・人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解を目的として、系統立てられた課題について実証的で独創的な研究を遂行するための高度な専門的知識、柔軟な思考力と幅広い表現力を習得していること。
- ・志望する専門分野において、学術の発展に繋がり得る研究課題を自ら発見し、それを解決できる研究能力を習得していること。
- ・自らの研究成果を国内外に向けて発信し、最先端の学術成果を共有するための外国語能力を習得していること。

入学者選抜では、修士の学位論文又はこれに代わるもの及び研究計画書等提出書類の審査、学修を希望する専門分野が課す筆記試験を行った後、口述試験を実施します。

1. 出願資格

- (1) 本学において令和9(2027)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者 **(第1号)**
- (2) 本学において修士の学位又は専門職学位を得た者 **(第2号)**
- (3) 本学以外の日本の大学において、修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和9(2027)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者 **(第3号)** (注1)
- (4) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者 **(第4号)**
- (5) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者 **(第5号)** (注2)
- (6) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者 **(第6号)**
- (7) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者 **(第7号)**
- (8) 外国の学校、上記出願資格(6)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和9(2027)年3月31日までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者 **(第8号)** (注3)
- (9) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和9(2027)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者 **(第9号)** (注1) (注2) (注3)
- (10) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、令和9(2027)年3月31日において24歳に達しているもの **(第10号)** (注4)

(注1) 上記(3)、(9)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(5)、(9)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(8)又は(9)の資格により出願しようとする者は、令和8(2026)年10月21日(水)までに本研究科事務部(8. 注意事項(13))に申し出て、その指示に従うこと。

- (注4) ① 上記(10)に該当する者とは、上記(1)から(9)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者とする。
- ② 上記(10)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、令和8(2026)年10月21日(水)までに書類を提出すること。提出書類等については、事前に本研究科事務部(8. 注意事項(13))に問い合わせること。
- ③ 入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、第一次選考及び第二次選考による。第二次選考は、第一次選考合格者についてのみ行う。
- (2) 第一次選考は、修士の学位論文又はこれに代わるものの審査及び出願書類の総合的判断を以て行う。
- (3) 第二次選考は、各専門分野において、提出論文並びに志望する研究分野についての口述試験を以て行う。
- (4) 各専門分野(ただし日本語日本文学及び西洋史学は除く)では、第一次選考ないし第二次選考にあたって、上記のほか、外国語や専門科目について学力試験を行う。試験科目等の詳細は、7～8頁「受験案内」を参照。

3. 募集人員

本研究科博士課程には、「基礎文化研究」「日本文化研究」「アジア文化研究」「欧米系文化研究」「社会文化研究」「文化資源学研究」「韓国朝鮮文化研究」の**7 専攻**が設けられている。専攻の下には**コース**が設けられ、さらにコースの下には**専門分野**が設けられている。

各専攻の募集人員は、次表のとおりである。

なお、試験の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

※ **文化資源学研究専攻**においては、専攻全体で募集人員を6人としており、そのうち約3人を社会人特別選抜により受け入れる。この**社会人特別選抜**は、文化資源学の分野で大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的として実施するものであり、出願は日本人及び日本国の永住許可を得ている者に限る。ただし、後者は、外国語試験において教育媒介言語を選択できない。

この社会人特別選抜枠に出願しようとする者は、1頁「1. 出願資格」に該当するとともに、出願年度末までに社会人としての実務経験が2年以上あることを必要とする。

専攻名	募集人員	コース名	専門分野名
基礎文化研究	30人	言語基礎応用	言語学
		形象文化	考古学
			美術史学
		思想文化	哲学
			倫理学
			宗教学 宗教史学
			美学 芸術学
死生学 応用倫理			
心理学	心理学		
日本文化研究	16人	日本語 日本文学	日本語 日本文学
		日本史学	日本史学
アジア文化研究	21人	アジア文化	中国語 中国文学
			東アジア思想文化
			インド文学・インド哲学・仏教学
			イスラム学
			アジア史
欧米系文化研究	19人	古典 古代 言語文化	西洋 古典学
		ロマンス語圏言語文化	フランス語 フランス文学
			イタリア語 イタリア文学
		広域英語圏言語文化	英語 英米文学
		ゲルマン語圏言語文化	ドイツ語 ドイツ文学
		スラヴ語圏言語文化	スラヴ語 スラヴ文学
		現代文芸論	現代文芸論
欧米歴史地理文化	西洋史学		
社会文化研究	10人	社会学	社会学
		社会心理学	社会心理学
文化資源学研究	6人 〔うち社会人特別選抜による者、約3人〕	文化資源学	文化資源学
		文化基盤学	文化基盤学
		文化経営学	文化経営学
韓国朝鮮文化研究	6人	韓国朝鮮歴史文化	韓国朝鮮歴史文化
		韓国朝鮮言語社会	韓国朝鮮言語社会

4. 出願手続

(1) 出願の方法

出願は、本研究科事務部に**直接持参**するか、若しくは**郵送**すること。郵送の場合は、「提出書類等」を一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院人文社会系研究科出願書類」及び志望する専門分野名（**専攻名、コース名ではない**）を朱書きの上、郵便局で「**書留郵便**」と指定して下記の宛先に送ること。

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号 **東京大学大学院人文社会系研究科 事務部**

TEL 03-5841-3710、3712

(2) 出願期間

令和8(2026)年12月2日(水) から12月8日(火) まで。受け付け時間は、午前10時から午後1時、午後2時から午後4時。ただし、最終日の12月8日(火)は午後3時まで。郵送の場合も、**12月8日(火) 午後3時まで**に**書留郵便で必着**のこと。

(3) 提出書類等（※印の書類については、本研究科所定のものを用いること。補足説明（9～10頁）を参照すること。）

本研究科修士課程修了予定者は、論文、論文要旨も同時に提出すること。

※ 入・進学願書	・志望する専門分野名（専攻名、コース名ではない）を必ず記入すること。 ・外国語の試験科目は、あらかじめ選択して記入すること。
※ 研究計画書	入（進）学を許可された場合に取り組みたいと考えている事項について記入すること。
修士の学位論文又はこれに代わるもの（3部）	・3部提出すること。 ・表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。 ・主論文以外に参考論文があれば提出しても差し支えない。 ・なお、外国語で書かれたものの場合、専門分野によっては日本語訳を求める場合がある。
論文要旨（3部）	・3部提出すること。 ・表紙おもてに志望専門分野名、氏名（フリガナ）、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。 ・要旨本文については、日本語の場合は4,000字以内とし、外国語の場合は用紙にダブル・スペースで印書し、10枚以内とすること。 ・なお、外国語の場合、専門分野によっては日本語訳を求める場合がある。
成績証明書	入・進学願書に記載した出身大学院において、所要事項が記入されていること。 コピー不可 本研究科修士課程修了見込者は不要。
修了（見込）証明書	成績証明書に修了（見込）年月日が記入されている場合は不要。 外国の大学院を修了した場合は、取得学位が記載されているもの。コピー不可 本研究科修士課程修了見込者は不要。
写真2葉（同一のもの）	最近3ヵ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のものを、入・進学願書及び受験票に貼ること。白黒・カラー共に可（縦5cm×横4cm）。裏面に氏名を記入すること。
※ 送付用シール	出願者本人の宛名を記入すること。 日本国内の住所を記入すること。
※ 受験票送付用封筒	出願者本人の宛名を記入し、410円分の切手を貼ること。 日本国内の住所を記入すること。
検定料 ※（検定料振込依頼書）	30,000円 【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済（銀聯）での払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。振込は令和8(2026)年11月9日（月）以降にすること。 なお、以下の者は検定料を納付しないこと。 ①本学の修士の学位又は専門職学位を得る見込の進学予定者。 ②外国人出願者のうち、日本政府（文部科学省）奨学金留学生。 (1) 【銀行振込の場合】 所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと）。振り込みの際、振込金受取書（B票）及び検定料振込金受付証明書（C票）を受け取り、検定料振込金受付証明書（C票）を入・進学願書の裏面の所定欄に貼り付けること。振込金受取書（B票）は領収書なので大切に保管すること。 ※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネットでの振込では、「検定料振込金受付証明書（C票）」が発行されないので利用しないこと。 (2) 【コンビニエンスストアでの払込の場合】

	「セブン-イレブン」、「ローソン」、「ファミリーマート」、「ミニストップ」に限る。払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院人文社会系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の裏面の所定欄に貼り付けること。 (3) 【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込の場合】 払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院人文社会系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「収納証明書」を印刷し、該当部分を切り取り、入学願書の裏面の所定欄に貼り付けること。 (4) 【クレジットカード・中国オンライン（銀聯）での払込の場合】 クレジットカードは、「ビザカード(VISA)」、「マスターカード(Master)」、「JCB カード」、「アメリカン・エクスプレスカード(American Express)」が利用可能。払込に関する操作手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院人文社会系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「収納証明書」を印刷し、該当部分を切り取り、入学願書の裏面の所定欄に貼り付けること。
※ 電 算 登 録 用 紙	・直接機械で読み取るので、汚したり折り曲げたりしないこと。 ・記入はHB又はBの鉛筆で入・進学願書と相違ないよう丁寧に記入すること（ボールペン等不可）。
※ 日本語能力証明書 (外国人受験者のみ)	出身大学又は語学学校等の日本語（又は日本学）担当教員による証明書、又は公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施している日本語能力試験 N1 レベルの「認定結果及び成績に関する証明書」の写し。ただし、日本の大学を卒業した者、日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者は提出する必要はない。
国 費 留 学 生 証 明 書	出願時において、日本政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生は、その在籍大学から発行された証明書を提出すること。ただし、本学に在籍中（研究生を含む）の者は、提出する必要はない。

5. 第一次選考合格者の発表

第一次選考合格者は、**令和9(2027)年2月4日（木）午前10時**に、本研究科のホームページ及び掲示場に受験番号を掲示する。なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

6. 第二次選考の試験期日

令和9(2027)年2月12日（金）

試験の時間割及び試験場については、第一次選考合格者の発表と同時に、本研究科のホームページ及び掲示場に掲示する。

※**死生学応用倫理専門分野、現代文芸論専門分野、文化資源学研究専攻及び韓国朝鮮文化研究専攻**については、**2月10日（水）**に行う。

7. 第二次選考合格者の発表及び入学手続

(1) 発表方法

第二次選考に合格し、入学許可を内定した者は、**令和9(2027)年2月18日（木）午後1時30分**に、本研究科のホームページ及び掲示場に受験番号を掲示する。なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

(2) 入学許可通知

令和9(2027)年2月下旬に入学許可書を本人宛に送付する。

(3) 入学手続

入学許可の通知を受けた者は、その際に同封された入学手続要領に従って必要な入学手続（入学料の納付及び入学手続書類の提出）を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱う。

(4) 入学時に必要な経費（令和9(2027)年度予定額）

- ① 入 学 料 282,000 円（予定額）（日本政府（文部科学省）奨学金留学生及び本学の修士の学位又は専門職学位を得る見込の進学予定者に対しては徴収しない。）
- ② 授 業 料 前期分 260,400 円（年額 520,800 円）（予定額）（日本政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては徴収しない。）

上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

8. 注意事項

- (1) 同一年度に、本研究科の二つ以上の専門分野に出願することはできない。
- (2) 提出期日までに所定の書類が完備しない入・進学願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、内容の変更は認めず、また、書類の返却はしない。
- (3) 「受験票」等は、12月下旬、直接本人に郵送する。令和9(2027)年1月7日（木）までに到着しない場合は、本研究科事務部（8. 注意事項（13））に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (4) 官公庁、企業、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の長の承諾書（様式任意）を提出すること。
- (5) 本学では、障害等のある者が、受験上及び修学上不利なことがないよう、合理的配慮を行っており、そのための相談を受け付けている。受験上の配慮を希望する者は令和8(2026)年10月21日（水）までに本研究科事務部（8. 注意事項（13））に申し出ること。なお、上記期日を過ぎての申出についても引き続き配慮検討の対象となるが、事前準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる受験上の配慮が限定されるため、なるべく早く連絡すること。（詳細は、研究科ホームページ <https://www.l.u-tokyo.ac.jp/> 参照）
- (6) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (7) 出願手続後は、どのような事情があっても、検定料の払い戻しはしない。
- (8) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (9) 出願書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (10) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、② 合格発表、③ 入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ ① 教務関係（学籍、修学等）、② 学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金等手続き、図書館の利用等）、③ 授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (11) 入学選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (12) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前、及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っている。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としている。
従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。
- (13) 問い合わせ先
東京大学大学院人文社会系研究科事務部学生支援チーム（大学院担当）
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号
TEL 03-5841-3710、3712
Email in@l.u-tokyo.ac.jp

令和8(2026)年 7月

東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程 入・進学試験「受験案内」

1. 第一次選考

日 時：令和9(2027)年1月23日(土)

[外国語試験] 2ヵ国語 9:30～11:30

1ヵ国語 10:30～11:30

[専門試験] 13:30～16:00

場 所：詳細については、受験票とともに郵送する。

2. 第二次選考

日 時：令和9(2027)年2月12日(金)

※死生学応用倫理専門分野、現代文芸論専門分野、文化資源学研究専攻及び韓国・朝鮮文化研究専攻については、2月10日(水)に行う。

場 所：第一次選考合格者の発表と同時に、試験の時間割及び試験場について、本研究科掲示場に掲示する。

専門分野	第一次選考		第二次選考		
	筆記試験		筆記試験		口述試験
	外国語	専門	外国語	専門	
言語学	実施	実施	—	—	実施
考古学	—	実施	実施	—	実施
美術史学	実施	実施	—	—	実施
哲学	—	実施	実施	—	実施
倫理学	実施	実施	—	—	実施
宗教学宗教史学	実施	実施	—	—	実施
美学芸術学	実施	実施	—	—	実施
死生学応用倫理	実施	実施	—	—	実施
心理学	—	実施	—	—	実施
日本語日本文学	—	—	—	—	実施
日本史学	—	—	実施	—	実施
中国語中国文学	実施	実施	—	—	実施
東アジア思想文化	—	—	実施	—	実施

外国語・専門試験等について		
外国語試験の科目設定		注意事項
日本人	1 (英)	本研究科本専門分野（言語動態学専門分野を含む）修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。外国人受験者の場合、日本人と同じ条件で受験する者を除き、専門試験においては、英語で解答することも可能である。
外国人	2 (日・英)	
日本人	1 (英必須)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。
外国人	2 (日・英)	
日本人	2 (英・独・仏・伊・中・西)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	2 (日必須、及び英・独・仏・伊・中・西から母語を除く1)	
2 (日・英・独・仏から母語を除く2)		本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
日本人	1 (英・独・仏)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	2 (日必須、及び英・独・仏から母語を除く1)	
日本人	1 (英)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	2 (日・英)	
日本人	2 (英・独・仏)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	2 (日必須、及び英・独・仏から母語を除く1)	
日本人	1 (英)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	2 (日・英)	
		本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
		筆記試験は行わず、第二次選考において口述試験のみを行う。
1 (英)		本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。外国人も日本人同様に行う。
日本人	2 (英・中)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。
外国人	1 (日)	
日本人	2 (英・中)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。
外国人	2 (日・中)、ただし中国語を母語とする者は2 (日・英)	

専門分野	第一次選考		第二次選考		
	筆記試験		筆記試験		口述試験
	外国語	専門	外国語	専門	
インド文学・インド哲学・仏教学	—	—	実施	実施	実施
イスラム学	実施	実施	—	—	実施
アジア史	—	—	実施	—	実施
西洋古典学	—	実施	—	—	実施
フランス語フランス文学	—	実施	—	—	実施
イタリア語イタリア文学	—	実施	—	—	実施
英語英米文学	—	実施	—	—	実施
ドイツ語ドイツ文学	実施	実施	—	—	実施
スガ語スガ文学	—	実施	実施	—	実施
現代文芸論	実施	実施	—	—	実施
西洋史学	—	—	—	—	実施
社会学	実施	実施	—	—	実施
社会心理学	—	実施	—	—	実施
文化資源学研究 (3 専門分野に共通)	実施	実施	—	—	実施
韓国朝鮮文化研究 (2 専門分野に共通)	—	—	実施	—	実施

外国語・専門試験等について					
外国語試験の科目設定			注意事項		
日本人	2	(英・独・仏・中から 1)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。		
外国人	2	(日・英・独・仏・中から母語を除く 1)			
日本人	2	(英・独・仏)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
外国人	2	(日・英・独・仏から母語を除く 1)			
日本人	2	(専門研究使用言語)	特記事項なし。		
外国人	2	(日・英・独・仏から母語を除く 1)			
			専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
			専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
			専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
			本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。(提出論文及び論文要旨は、英語で書かれたものに限る。)		
日本人	1	(英・仏・露・伊・西)	専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
外国人	2	(日・英・独・仏・露・伊・西から 1)			
2 (英・独・仏)			第一次選考専門試験は、本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。外国人も日本人同様に行う。第二次選考外国語試験は、和訳の試験を行う。辞書使用可。外国人も日本人同様に行う。		
日本人	2	(英・独・仏・露・伊・西)	本研究科欧米系文化研究専攻の各専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
外国人	2	(日・英・独・仏・露・伊・西から母語を除く 1)			
			筆記試験は行わず、第二次選考において口述試験のみを行う。		
日本人	1	(英)	本研究科本専門分野修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は専門科目試験、論文試験(ただし、17:00～19:00)から成る。		
外国人	2	(日・英)			
			専門試験は外国人も日本人同様に行う。		
日本人	一般選抜	2 (英・独・仏・露・伊・中・西・韓)	本研究科本専攻修士課程修了者及び修了見込の者を除く。専門試験は外国人も日本人同様に行う。社会人特別選抜において、外国人で日本国の永住許可を得ている者は教育媒介言語を外国語として選択できない。		
	社会人特別選抜	1 (英・独・仏・露・伊・中・西・韓)			
外国人	2	(日・英・独・仏・露・伊・中・西・韓から母語を除く 1)	特記事項なし。 ※ここでいう母語とは、初等・中等教育において使用した主要な教育媒介言語を指す。		
日本人	2	(英・中・韓)			
外国人	2	(日・英・中・韓から母語(※)を除く 1)			

説明 外国語試験科目の表記について

外国語試験欄で、例えば「2 (英・独・仏・露・伊・中・西・韓)」とあるのは、英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・韓国朝鮮語の中から、2 ヵ国語を選択しなくてはならないことを示す。また、「2 (中・英・独・仏から 1)」とは、中国語が必須であり、加えて英語・ドイツ語・フランス語の中から、1 ヵ国語を選択しなくてはならないことを示す。

注意 外国人受験者の注意事項

日本の高校を卒業した者は、日本人と同じ条件で外国語試験を受験しなくてはならない。「日本語能力証明書」を提出する必要はない。

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程学生募集要項補足説明

以下は、令和9(2027)年度の人文社会系研究科博士課程学生募集要項を補足するものである。
出願にあたり、必ず参照すること。

1. 修士の学位論文又はこれに代わるものの提出について

- (1) 「修士の学位論文又はこれに代わるもの」(以下「論文」という。)は、その内容が志望専門分野に関するものであること。修士の学位論文が志望専門分野に関わらない内容の場合は、志望専門分野に関する「それに代わる論文」を提出すること。
(※) 本学大学院人文社会系研究科修士課程修了見込みの者は、修士の学位申請論文を提出すれば、あらためて入学試験の審査用として提出する必要はない。ただし、出身の専門分野と志望する専門分野が異なる場合、「それに代わる論文」の提出を求めることがあるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。
- (2) 論文が、本学に提出する時点で未完成であったり、まだ最終審査を経ていない場合であっても、なるべく論文として完結した形のものを適宜作成して、入学試験の審査用として提出すること。
- (3) 欧米系文化研究専攻英語英米文学専門分野志願者の提出論文及び論文要旨は、英語で書かれたものに限る。
- (4) 外国語の論文を認めない専門分野や、外国語の論文の日本語訳の提出を求める専門分野もあるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。
- (5) 作成にあたっては、散逸することがないように1部ずつ製本若しくはファイルし(ホッチキス止め、クリップ止め不可)、表紙おもてに志望専門分野名、氏名(フリガナ)、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。
- (6) 同一の論文を3部提出すること。コピーしたものでも差し支えない。
- (7) 不明な点があれば、あらかじめ志望する専門分野の研究室に相談しておくこと。

2. 論文要旨の提出について

- (1) 表紙おもてに志望専門分野名、氏名(フリガナ)、出身大学院・研究科・専攻名、論文題目を順に記入すること。
- (2) 論文要旨が外国文の場合は、日本語訳の提出を求めることがあるので、事前に志望する専門分野の研究室で確認しておくこと。

3. 成績証明書及び修了(見込)証明書の提出について

- (1) 外国の大学院を修了した場合は、いずれかの証明書に取得学位名が記載されているものを提出すること。
- (2) 証明書は原本(紙媒体)を提出すること。まれに発行元の都合で、証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違ないことを証明の上、提出すること。

4. 受験票送付用封筒の提出について

出願資格にかかわらず全員提出すること。

5. 外国人出願者への注意

- (1) 出願時において、日本政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生については、その在籍大学から発行された「国費留学生証明書」を提出すること。この証明がない場合は、検定料を納付しなければならない。〔(※) 東京大学に在籍している者は、提出する必要はない。〕
- (2) 本研究科に在籍中の外国人研究生は、成績証明書・修了証明書及び「日本語能力証明書」を提出する必要はない。

6. その他の注意事項

- (1) 検定料は必ず【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済（銀聯）での払込】とし、**金額は30,000円**であること。過不足がある場合は、入・進学願書を受理しない。

なお、以下の者は検定料を納付しないこと。

①**本学の修士の学位又は専門職学位を得る見込みの進学予定者**

②**外国人出願者のうち、日本政府（文部科学省）奨学金留学生。**ただし、本学に在籍中（研究生を含む）の者以外は、在籍大学から発行された「国費留学生証明書」を提出すること。

- (2) 出願書類が完備しない入・進学願書は、出願期間内に提出されたものであっても受理しない。
また、出願書類以外のものは、受理しない。
- (3) 各専門分野の研究・教育内容については東京大学文学部・大学院人文社会系研究科ホームページ (<https://www.l.u-tokyo.ac.jp/>) 等で確認のこと。
- (4) 平成 26(2014)年度以降の過去問題の入手については、文学部複写センター（日本興業社）（法文 2 号館地階 TEL 03-3814-9301）に、直接問い合わせること。

「入・進学願書」「研究計画書」及び「博士課程入・進学試験電算登録用紙」作成上の注意

1. 入・進学願書の記入について

- (1) 入・進学願書の記入にあたっては、黒ボールペンを使用すること。消せるボールペンは使用しないこと。
- (2) 「フリガナ」欄は、カタカナで記入すること。
- (3) 「氏名」欄は、漢字又はアルファベットで記入すること。アルファベットは、ブロック体で丁寧に記入すること。
- (4) 「写真貼付欄」に貼付する写真と受験票に貼付する写真は、同一のものを使用すること。（正面・上半身・無帽子・無背景で最近3ヵ月以内に撮影のもの）
- (5) 「本人住所」欄は、本研究科から電話、E-mail 又は郵便等で連絡のできる場所を記入すること。
- (6) 「受験外国語」欄は、受験外国語が1ヵ国語のみの専門分野を志望する場合は、一方の欄に記入し、もう一方の欄は空欄とすること。
- (7) 「履歴事項」欄は、**高等学校卒業より、空白期間のないように記入すること**。また、職歴がある場合にも同様に記入すること。外国人の場合は小学校より記入し、以下は日本人同様とする。
最後に「現在に至る。」と記入すること。
- (8) 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し、訂正すること。

2. 「研究計画書」の提出について

- (1) 研究計画書の記入にあたっては、黒ボールペンを使用すること。消せるボールペンは使用しないこと。（ワープロ等で作成したものの切り貼り可）
- (2) 入（進）学を許可された場合に取り組みたいと考えている事項について記入すること。

3. 博士課程入・進学試験電算登録用紙の記入について

- (1) この用紙は直接機械で読み取るので、汚したり折り曲げたりしないこと。記入にあたっては、**HB又はBの鉛筆で入・進学願書と相違ないように**丁寧に記入すること（ボールペン等不可）。
特に、**数字は判別できるよう、「記入例」に従い明確に記入**すること。
- (2) 「志望専門分野」欄は、表紙裏の研究室電話番号一覧のコード欄に従い、該当する番号を記入すること（0は省略しない）。
また、本研究科修士課程修了及び修了見込者のみ、在籍専門分野の番号を記入すること（0は省略しない）。言語動態学は「02」、東アジア歴史社会は「22」、南アジア・東南アジア歴史社会は「25」、西アジア歴史社会は「27」、南欧語南欧文学は「33」、形態資料学は「52」、文書学は「53」、文献学は「54」、韓国朝鮮歴史社会は「56」、韓国朝鮮言語思想は「57」、北東アジア文化交流は「58」。
- (3) 「生年月日」欄は、西暦で記入すること。月・日が1桁の場合は、頭に「0」をつけること。
- (4) 「性別」「国籍」「出身大学院」「大学院在籍の有無」「研究生在籍の有無」「就職について」欄は、それぞれ該当する番号を記入すること。
- (5) 「学生証番号」欄は、本学の修了者、修了見込者及び研究生（外国人含む）のみ記入すること。
- (6) 「受験外国語」欄は、1ヵ国語受験の専門分野出願者、2ヵ国語受験の専門分野出願者はそれぞれ該当箇所に番号を記入すること。
また、日本語を受験する外国人出願者は、「2ヵ国語受験の専門分野出願者」欄の**左側**に「9」（日本語）を、**右側**に第一次試験又は第二次試験当日に各専門分野が指定するもののうち、自分の受験する外国語1ヵ国語を選択し、該当する番号を記入すること。アジア史専門分野出願者は、外国語名を記入すること。
なお、外国語試験が免除されている者は、記入しないこと。
- (7) 「出願資格」欄は、1頁「1. 出願資格第1号～第10号」のうち該当する番号を記入すること。
該当番号が1桁の場合は、頭に「0」をつけること。

東京大学大学院 人文社会系研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



学校一覧から、『東京大学大学院』または『東京大学大学院 (中国決済専用)』のどちらかを選択してください。

『東京大学大学院』では、中国決済以外の払込を選択することができます。

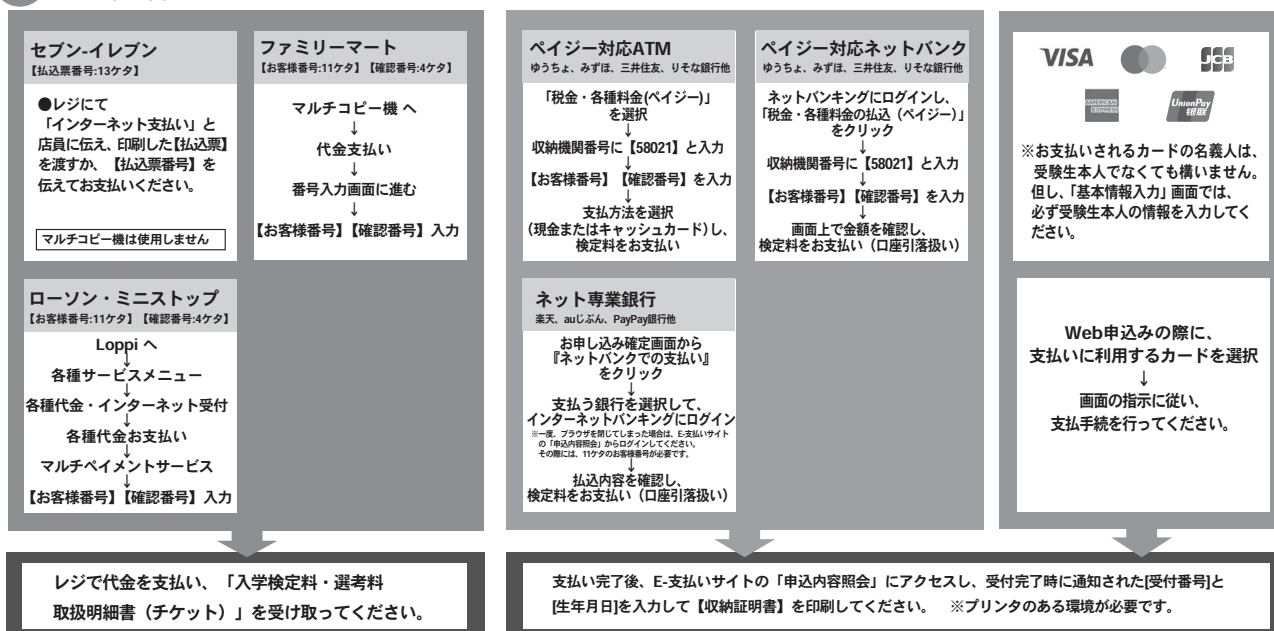
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い



3 出 願

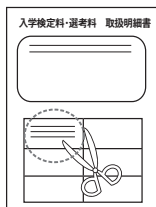
【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、所定の貼付台紙に貼る。※右図参照

<注意>

スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

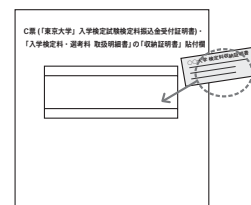


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、所定の貼付台紙に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

4 注意事項

- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードでのお支払いの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払が完了します。23:00までにお手続きください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●取扱のコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

■お支払い期間

修士課程(夏季入試)	令和 8 年 6 月 8 日(月) ~ 6 月 22 日(月)
修士課程(冬季入試)	令和 8 年 10 月 12 日(月) ~ 10 月 26 日(月)
博士課程	令和 8 年 11 月 9 日(月) ~ 12 月 8 日(火)

THE UNIVERSITY OF TOKYO

(Graduate Schools of Humanities and Sociology)

How to make the Payment for the Examination Fee by Credit Card, and Union Pay.

— 24 hours a day, 365 days a year, you can pay anytime! Easy, Convenient and Simple! —

You can pay the Examination Fee by using
Credit Card, and Union Pay.

VISA



JCB

AMERICAN EXPRESS

UnionPay 银联

Access

<https://e-shiharai.net/english/>



You can access
from our
website too !

Web Application - Online Transaction

1. Top Page

Click "Examination Fee".

2. Terms of Use and Personal Information Management

Please read the Terms of use and Personal Information Management.

Click "Agree" button located in the lower part of this page if you agree with these terms.

Click "Not agree" button located in lower part of this page if you do not agree with these terms.

3. School Selection

Select "The University of Tokyo (Graduate Schools)" or "The University of Tokyo (Graduate Schools) (China payment only)"

4. School Information

Read the information carefully and click "Next".

5. Category Selection

Choose first to fourth selection and add to basket.

6. Basket Contents

Check the contents and if it is OK, click "Next".

7. Basic Information

Input the applicant's basic information.

Choose your credit card and click "Next".

Paying by Credit Card

Input Credit Card Number (15 or 16-digits),
Security Code and Expiration Date.

All of your application information is displayed.
Check and click "Confirm".

Click the "Print This Page" button and print out
the "Result" page.

Paying by Union Pay

All of your application information is displayed. Check and click "Confirm".

Follow the onscreen instructions to complete the card payment.
Please write down the "Receipt Number" given when you
complete your application.

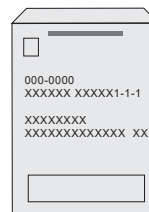
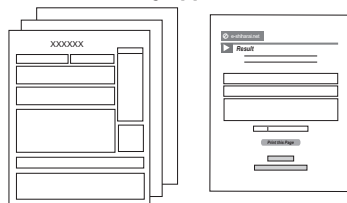
Please click the "Application Results" button in the upper
part of this site (e-shiharai.net).

Input enter your "Payment Method", "Receipt Number"
and "Birth Date".
Please make sure your printer is ready.

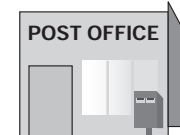
Please print out the "Payment Inquiry - Inquiry result" page.

Enclose the printed "Result" page in an application envelope with
other necessary application documents.

Necessary application documents



Mail it from Post office



[NOTICE/FAQ]

- During payment periods and application periods mentioned in the application documents, you can make a payment anytime. Please confirm from application documents and complete payment in time for the application period.
- On the last date of the payment period, please finish card settlement procedure by 11:00pm Japan time.
- A fee is added to Examination fee. For further info, please visit our website.
- Please note that refund is not possible once you have made a payment of Entrance examination fee.

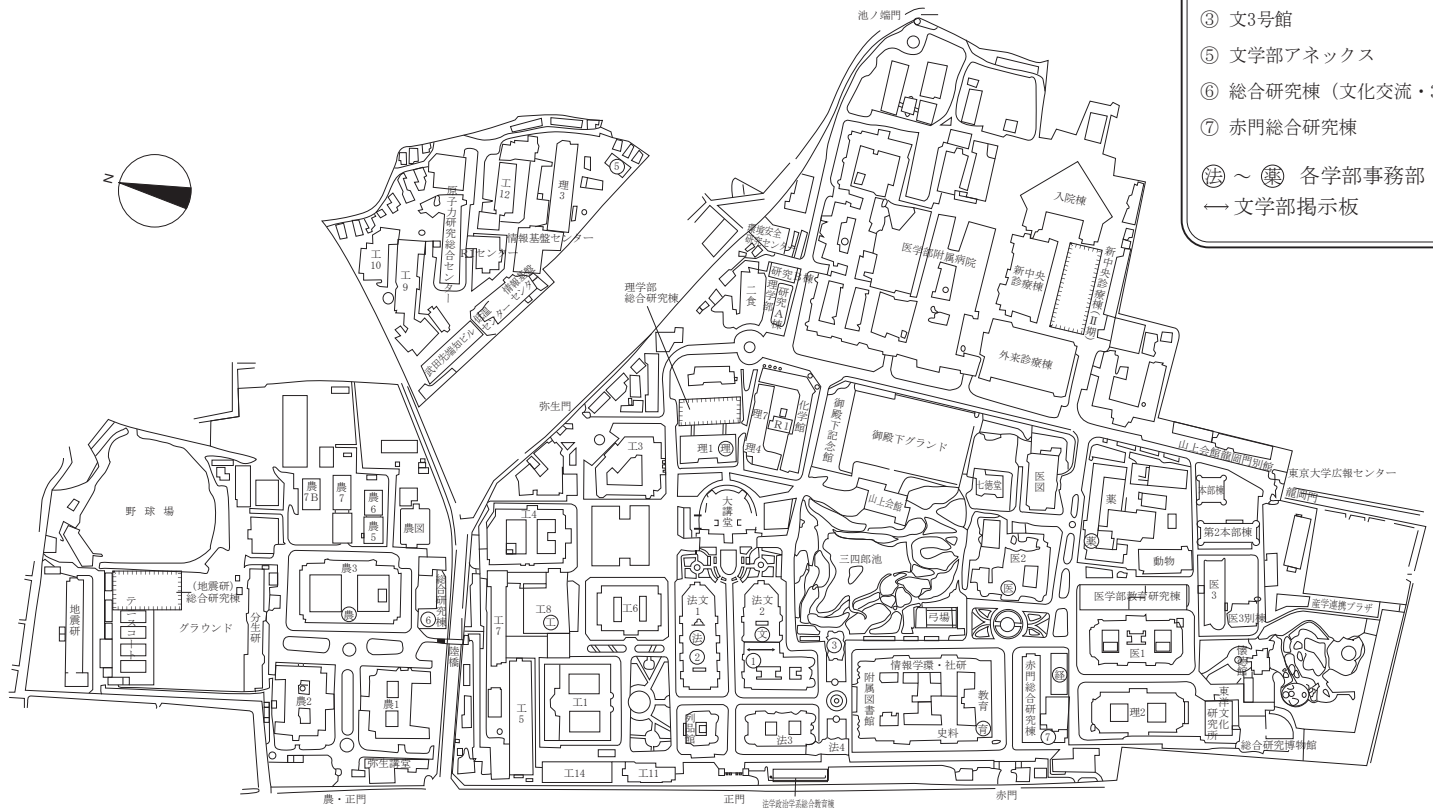
- It is possible to use a card which carries a name different from that of the applicant. However, please make sure that the information on the basic information page is the applicant's information.
- If you did not print out "Result" page, you can check it later on Application Result page. Please enter "Receipt Number" and "Birth Date" to redisplay.
- Please directly contact the credit card company if your card is not accepted.

For questions or problems not mentioned here, please contact :

E-Service Support Center Tel : +81-3-5952-9052 (24 hours everyday)

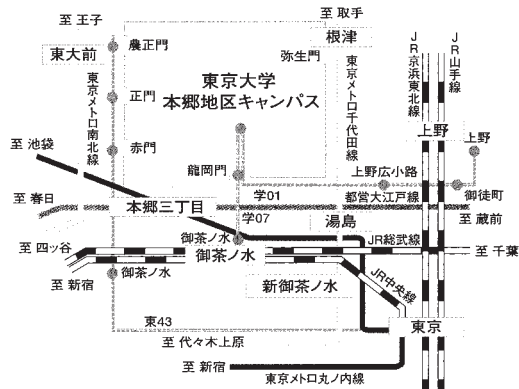
東京大学文学部建物配置図

本郷校内略図



文学部教室・研究室案内図は裏面にあります。

東京大学 本郷地区キャンパスへのアクセス



- 本郷三丁目駅(東京メトロ丸ノ内線)より徒歩8分
- 本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線)より徒歩6分
- 湯島駅又は根津駅(東京メトロ千代田線)より徒歩8分
- 東大前駅(東京メトロ南北線)より徒歩1分
- 御茶ノ水駅(JR中央線、総武線)より
 - <地下鉄利用> 東京メトロ丸ノ内線(池袋行) → 本郷三丁目駅下車
 - 東京メトロ千代田線(取手方面行) → 湯島駅又は根津駅下車
- <都バス利用> 茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行 → 東大(赤門前、正門前、農学部前)下車
- 茶07東大構内行 → 東大(龍岡門、病院前、構内)下車
- 上野駅(JR山手線等)より
 - <都バス利用> 上01東大構内行 → 東大(龍岡門、病院前、構内)下車
- 御徒町駅(JR山手線等)より
 - <都バス利用> 都02大塚駅又は上69小滝橋車庫前行 → 本郷三丁目駅下車

東京大学大学院
人文社会系研究科事務部

〒113-0033

東京都文京区本郷7丁目3番1号

電話 03-5841-3710・3712